

再生路盤材の試験報告書

受 付 番 号	工試第M-*****-*****
受 付 日	****年 *月 *日
発 行 日	****年 *月 *日

***** 殿

一般財団法人 建材試験センター
工事材料試験所長

浦和試験室
〒338-0822 埼玉県さいたま市桜区
中島2丁目12番8号
電話番号 048 (858) 2790
試験監督者 *****

1. 試料（依頼者提出の資料による）

種 類	RC-40
製 造 工 場	*
採 取 日	—
用 途	*

2. 試験内容

試 験 方 法	J I S A 5 0 0 1 道路用碎石 5. 2 粒度試験 J I S A 5 0 0 1 道路用碎石 5. 3 絶乾密度及び吸水率試験 J I S A 5 0 0 1 道路用碎石 5. 4 すりへり減量試験 J I S A 5 0 0 1 道路用碎石 5. 5 塑性指数 J I S A 1 2 0 3 土の含水比試験方法 J I S A 1 1 0 4 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法 建設図書“アスファルト舗装に関する試験”軽装単位体積重量 アスファルトコンクリート混入率は、再生処理材を5mmふるいでふるい分け、残留した試料からアスファルトコンクリートを目視によって選別し、質量比で示した。 (公社)日本道路協会 “舗装調査・試験法便覧” E 0 0 1 ①修正CBR試験方法
試 験 期 間	****年 *月 *日
試 験 場 所	浦和試験室
試 験 担 当 者	*

3. 試験結果

粒 度 試 験					
※1	通 過 質 量 百 分 率 %				
ふるい目の寸法 mm	53 (50)	37.5 (40)	19 (20)	4.75 (5)	2.36 (2.5)
測 定 値	*	*	*	*	*
※2 規 格 範 囲	100	95~100	50~80	15~40	5~25
備 考	※1 () 内は各ふるい目の公称寸法 ※2 RC-40の規格粒度範囲 粒度試験結果（粒度曲線）を図-1に示す。				

試 験 項 目		1	2	平 均
密 度 g/cm^3	表 乾			
	絶 乾			
吸 水 率		%		
す り へ り 減 量		%		
塑 性 指 数 (P. I)	液性限界 ※1	%		
	塑性限界	%		
	塑性指数 ※2			
アスファルトコンクリート混入率		%		
備 考	※1 試験結果においてその性状が認められない場合は、NP (non-plastic)とする。 ※2 液性限界若しくは塑性限界が求められないとき、又は液性限界と塑性限界に有意な差がないときは、NPとする。			

試 験 項 目		1	2	平 均
単 位 容 積 積 験 質 量 試 験	軽装単位容積質量 kg/L			
含 水 比		%		
備 考	試験は、自然含水比状態の試料を用い、以下の条件で行った。 ・軽装単位容積質量は、J I S A 1104に規定された10L容器を用い、 締め固めを行わず試料をスコップによって容器に流し込み、試験を行った。			

修正 C B R 試験									
共通項目	試験料の準備方法					乾燥方法			
	試験料の使用方法					非繰返し法			
最適含水比測定試験 92回／層 (3層)	平均含水比								
	%								
	乾燥密度								
	g / cm^3								
	最適含水比 %								
	最大乾燥密度 g / cm^3								
C B R 試験	突固め回数	番号	乾燥密度	4日水浸後の吸水膨張比			C B R 値		
			g / cm^3	%			(5.0mm貫入時) %		
	92回／層(3層)	1							
		2							
		3							
		平均							
	42回／層(3層)	1							
		2							
		3							
		平均							
17回／層(3層)	1								
	2								
	3								
	平均								
	修正 C B R % ※		41						
備考	※ 最大乾燥密度の95%の時の値。 乾燥密度－含水比曲線及び乾燥密度－C B R 曲線を図－2に示す。								